

# みんなで参加 いきいき西原産業まつり

# 第7回 西原町の産業まつり

西原町の特産品や産業を広く町内外にアピールする「第7回西原町の産業まつり」(同実行委員会主催)が、1月17日と18日の2日間にわたって、西原町役場の駐車場に設けられた特設会場で開催されました。まつりでは多くの事業所・団体が出店。たくさんの特産品が展示・販売されました。また、黒糖づくりや新鮮野菜の配布、農産物や花卉・加工品などの展示会など多くの催しが行われ、西原町の地産地消の推進と地域活性化が図られました。

ステージでは開会セレモニーの坂田小学校音楽部の演奏を皮切りに、町内で活動する団体の舞踊やフラダンス、創作エイサー、獅子舞、民謡など多様なショーが会場を盛り上げました。2日間で延べ約七千人の方がまつりを訪れ、西原町の産業を堪能しました。



まつりの開会セレモニーでは、関係者がテープカットを行った後、幕開けをつける坂田小学校音楽部の演奏が会場に響きました。



「運玉吟友会」の詩吟や「指笛王国おきなわ」の指笛の演奏など、多くの団体がステージに出演しました。



マグロの解体ショーでは、会場で職人が、大きなマグロを豪快にさばきました。みるみるうちに切り身になるマグロに観客の視線は釘づけ。刺身にさばかれたマグロは、来場者にふるまわれました。

榎原ミルク太鼓や坂田太鼓、各地の獅子舞などが出演し、伝統の舞を披露しました。



我謝の獅子舞



西原町子ども会育成連絡協議会による餅つき大会が行われました。来場者は交代で餅つきを体験し、つくったお餅をほおばりました。

西原町学童保育連絡協議会が企画した「子ども広場」では、さまざまなゲームや手作りコーナーなどが用意され、多くの親子連れでにぎわいました。



今回の「西原町の産業まつり」の司会を務めたのは、琉球大学放送スタジオラブクラブ「StudioRUB」に所属する大学生。まつりを大いに盛り上げてくれました。



2日目の司会者

## 「第7回西原町の産業まつり」 出品展示会の各賞受賞者

西原町の産業まつりテーマ選出表彰  
「みんなで参加 いきいき西原産業まつり」

### 農産物の部

よなみねもりお ひがゆきや みやぎけんいち  
與那嶺 盛夫(※)・比嘉 幸弥・宮城 賢一  
(※)與那嶺さんはJAおきなわ西原支店長賞を受賞

### 農産加工品の部

ほかま ふさえ きゃん ないとうさだよ  
外間 房江(※)・喜屋武 キミ子・内藤 貞代  
(※)外間さんは西原町商工会長賞を受賞

### 花卉・盆栽の部

よなみねまさいち よなみねいさおご やけんいち ちなていきち  
与那嶺 正一(※)・与那嶺 勲・呉屋 健一・知名 定吉  
(※)与那嶺さんは第7回西原町の産業まつり実行委員長賞を受賞

### 手工芸品の部

もろみざとよねこ こやかよこ  
諸見里 米子・呉屋 通子

展示会には、丹精込めて作られた多くの品が  
出品されました。



実行委員長賞を受賞した与那嶺正一さん

### シージョウスープの優勝は、徳佐田自治会と美咲自治会

昔ながらの製法で黒糖づくりを行い、その質を競う「シージョウスープ」が、2日間にわたって行われました。シージョウスープは、昔と同じ材料、製法で黒糖を作り、その味を自治会対抗で競い合うイベントで西原町の産業まつりの名物プログラムです。今回は2日合わせて17自治会のチームが参加しました。実行委員会で用意したさとうきびのしぼり汁を使用するため、材料は同じにも関わらず、できあがった黒糖は見た目や風味、香りや味に違いがあり、審査員たちの頭を悩ませました。

シージョウスープ結果	
1日目(17日)	1位 徳佐田自治会
	2位 小那覇自治会
	3位 我謝自治会
2日目(18日)	1位 美咲自治会
	2位 小波津自治会
	3位 呉屋自治会

多くの方が参加し、各チームともにぎやかに黒糖を作りました



DJのパフォーマンスでは子どもたちがスクラッチを体験。ヒップホップのライブやダンスも披露され、ステージを彩りました。

西原町内の高校生が大学生と連携し、地域資源の発掘や特産品のPRなどを通してまちおこしを図る「西原ソーシャルビジネスプロジェクト(NSBP)」の一環として、テナントを出店し、ステージでのPRに挑戦しました。

まつりを盛り上げるため、西原高校マーチングバンド部が出演。日本を代表するパフォーマンスに対し、大きな拍手が送られました。